

大西 真幌
のライフプラン

将来なにになりたいか？ 動物園で動物を飼育する研究員
その理由：絶めつた動物を復活させたいから。

夢をかなえるまでのスケジュール

西暦(年)	年齢(学年)	夢をかなえるために努力すること	努力するために、なににお金がかかりそうか
2023年	9才(3年)	動物にくわしくなるために動物園によく行く	動物園代
2024年	10才(4年)	動物の体のつくりを本や図かんてまなぶ	本や図かん代
2025年	11才(5年)	小学科のウツギの飼育係になってお世話をし、エサをあげる	エサの代
2026年	12才(6年)	小学科の文集をかき出しに飼育係のけいけんを文章でまよげんする	
2027年	13才(中学)	動物園の飼育係にたたくさん参加する	体けん代
2028年	14才(中学)	ニホンオオカミがさいごに見つかったところから東吉野野をしらべる	キャンプ代 お土産代
2029年	15才(高)	さかしまのオオカミセンターで研究者の人の話をきいてかいごふかめる	お土産代 お弁当代
2030年	16才(高)	スイスにリョウかくするのためにフランス語を勉強する	フランス語 じかん代
2031年	17才(高)	スイスにリョウかくし、UCN(国際自然保護連盟)の学生プロジェクトに参加する	リョウかく代
2032年	18才(高)	大学受験勉強をして理学部生物学科をめざす	心く代・問題集代
2033年	19才(大)	動物保護ボランティア活動をしなから動物学をまなぶ	じかん代
2035年	21才(大)	せつめつきじんの糸田ほづを凍けつ保存する研究に参加する	↓
2036年	22才(大)	卒業論文をかいて海外で発表する	海外 じかん代
2037年	23才(大)	ニホンオオカミやトキのこころをさいまうおぼえんするけんきうをつづける	研究代
2041年	27才(3)	ほかの論文で細ぼうから動物をふかつかせる方法を発表する	↓
2042年	28才	国立かきょうを研究する動物園でいそがしく	↓
2069年	55才	せつめつた動物をふかつかせてノーベルしょうをとる	

いなくなつた動物たちにあいたい！

筑波大学附属小学校 三年 大西 真幌

私の夢は絶めつた動物を復活させて動物園でまたみんなが楽しく見られるようにすることだ。

日本の野原や山には昔、ニホンオオカミやトキがいて、人間の近くでくらししていたが、ニホンオオカミは千九百五年にトキは二千三年に絶めつたという。人間が環境を破壊したり、むやみに捕かくしたりしたことが原因らしい。そのことを本で学んだ時、私はいなくなつた動物たちにもう会えないことをとてもさんねんに思った。日本のトキのきれいなピンク色の羽やニホンオオカミの強くたくましい姿をいろいろと想ぞうした。

でも、はくせいや羽や毛皮はまだのこっているらしいので、そこから細ぼうを取りだして、保存して、いでんがくてきに復活させることを研究している人たちがいることを知った。私もそういう仕事をして、いなくなつた動物に会えて、人間

と一緒に遊べるような動物園を作る手伝いがしたいと思うようになった。

今のいでんしのぎじゆつでは、細ぼうだけからすぐに生物をふつかつさせることはできないため、まずのこっている細ぼうをしょうらいにむけて冷凍保存することがとても大切なことと同時に、動物たちを復活させるための技術を研究していくひつようがある。

夢の実現に向けて、動物や細ぼうのことを知らなければならぬと考えている。そのために動物学や、細ぼうのしくみを勉強できる大学を目ざしつつ、実際に動物の復活の取り組みをしている人たちに会いにいつてりかいをふかめていきたいと思つている。

人間のせいで、地球からいなくなつてしまつた動物たちを取りもどすのも、私たち人間のしょうらいの大切な仕事であると思う。勉強や研究は大変だらうけど、動物園で喜ぶ未来の子ども達のためにもがんばつていきたい。